

患者ID

兵庫医科大学病院消化管内科 2025.1.29改訂

内視鏡的大腸粘膜下層切開剥離術を受けられる患者さんへ(No1) 入院診療計画書

消化管内科 ()病棟 ()号室 患者さま氏名: 病名:大腸腫瘍 症状:なし

入院目的:腫瘍切除 手術内容:内視鏡的大腸粘膜下層剥離術 推定される入院期間:約6日 特別な栄養管理の必要性: 有・無

	入院日(/)	手術当日(/)	術後1日目
内服	持参薬の確認をします(入院中は看護師がお配りします) 抗凝固剤を服用されていた患者様は中止されていますか? 22時に下剤(センノシド2錠・ピコスルファート1本)を内服していただきます	持参薬を中止します(ただし、主治医の指示により、血圧心疾患などの薬は、下剤の処置終了後内服していただきます 午前に手術の方:5時30分にメクロプラミド1錠 6時からモビプレップ1包2リットル内服 午後に手術の方:4時30分にメクロプラミド1錠 5時からモビプレップ1包2リットル内服 (便の出具合で看護師が内服を続けるか判断します)	朝から常用薬の内服が開始になります (ただし、血糖を下げるお薬や、血をさらさらにするお薬は主治医の指示が出るまで中止です)
点滴	点滴の針を入れます	朝8時より、持続点滴をします 治療後、抗生剤の点滴があります	持続点滴です 1日2回抗生剤を投与します
処置	体温・血圧・脈拍を1回/日測定します	肺血栓塞栓症予防の弾性ストッキングをはいていただきます 体温・血圧・脈拍を4回/日測定します 手術後より、腹痛・吐気・嘔吐・下血がないか観察していきます	体温・血圧・脈拍を3回/日測定します
検査	必要時、採血検査があります		採血があります
食事	残渣の少ない食事(ブラウン食全粥)を摂っていただきます	朝から絶食です 水分は摂っていただいても結構です (ただし牛乳・コーヒー・果実の入ったジュースは避けてください)	朝から水分が飲めます 水・お茶・スポーツドリンクは 飲んでいただいてもかまいません
排泄		内視鏡室に行く前に排尿をしていただきます 必要時、尿のくだをいれます	ご自分でお手洗いに行ってくださいかまいません
清潔	入浴できます		全身清拭・洗髪をお手伝いします
安静度	制限はありません	治療後はトイレ時以外、ベッドで安静を保って下さい	棟内歩行できます (弾性ストッキングは脱いでください)
説明・指導、その他(リハビリテーション等の計画)	ネームバンド装着 看護師により入院時オリエンテーションがあります 医師から手術の説明があります	入れ歯・指輪・時計・眼鏡・コンタクトをはずしてください 術後、手術結果の説明があります	強い腹痛があるときは看護師にすぐお知らせください 便が出たときは、流さずに看護師にお見せください (出血がないか確認いたします)

注1) 診察内容は現時点で考えられるもので、今後検査を進めていくに従って変更する場合があります。その場合は再度説明いたします。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

主治医署名		主治医以外の担当者署名	
-------	--	-------------	--

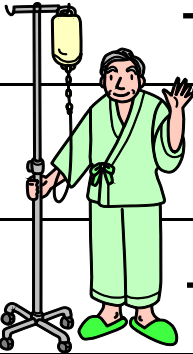
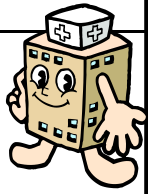
上記の通り、治療計画について十分な説明を受けましたので同意します。 年 月 日

患者本人署名		親族又は代理人署名	
--------	--	-----------	--

(患者さまとの続柄:) 承認番号:72011-11

内視鏡的大腸粘膜下層切開剥離術を受けられる患者さんへ(No2) 5泊6日

患者様氏名

	術後2日目	術後3日目	術後4日目(退院日)	退院後の療養上の注意点
内服	常用薬の内服はさせていただきます 夕方から緩下剤(マグミット)を内服していただきます		血液をさらさらにするお薬を飲まれている方は退院日翌日から再開してください	・治療時に出された薬は毎日、忘れずに飲みましょう ・退院後、1週間は腸の負担にならないような消化のよいものを取りましょう ・根菜類・きのこ・海藻類はよく噛んで食べましょう ・辛いもの、ニンニクなどの刺激物は避けましょう ・コーヒーなども避けましょう ・次回外来受診まで、禁酒・禁煙をしてください 
点滴	持続点滴です 	点滴終了後 点滴の針を抜きます		
処置	体温・血圧・脈拍を1日1回測定します			
検査				
安静度	院内歩行ができます			
食事	朝から低残渣食2度 7分粥が開始です 	朝から低残渣食2度 全粥が開始です		・次回外来受診まで、入浴で湯につかるのは約15分以内としましょう ・急激な腹痛・下血(赤黒っぽい便)など、気になることがあれば、早めに病院に連絡しましょう 外来:0798-45-6200 時間外:0798-45-6111
清潔	シャワーができます			
説明、指導 その他 (リハビリ テーション 等の計画)	強い腹痛があるときは看護師にすぐお知らせください。便が出たときは流さずに看護師にお見せください			

※状況により変更することがあります。ご不明な点があれば、おたずねください。